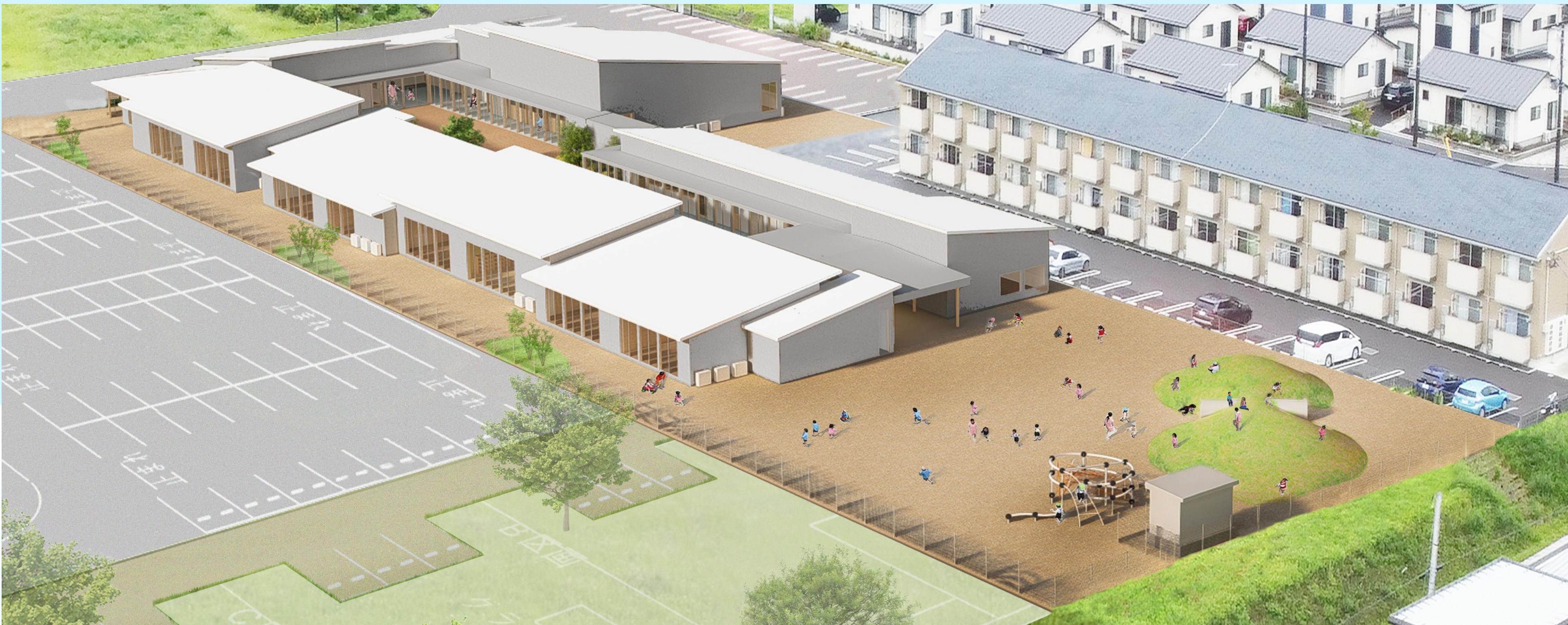


認定こども園開園に係る住民説明会



説明者 社会福祉法人 松葉福祉会 理事長 小松良行
(仮称)こおりこども園開設準備室長 加藤純子

2024年5月11日

法人の沿革

- ・平成15年 2月 福島市児童福祉施設準備（平成16年度）認可協議書 提出
- ・平成15年 9月 設立準備会発足
- ・平成15年12月 平成16年度社会福祉法人設立認可における事前協議
- ・平成16年10月 社会福祉法人松葉福祉会の設立認可
- ・平成17年 5月 福島東保育園 開園（児童定員 60名）
- ・平成22年 4月 ノ 定員増（児童定員 75名）
- ・平成23年 4月 福島ぼなみ保育園(定員60名)同子育て支援センター開園
- ・平成27年 3月 両園の幼保連携型認定こども園移行、定員増認可申請
- ・平成27年 5月 福島東保育園 創立10周年記念式典
- ・平成27年 7月 福島東こども園(定員85名)、福島ぼなみ子ども園(定員75名) 認可
- ・平成29年 3月 福島郷野目こども園（児童定員95名）竣工、同年4月開園
- ・令和 元年 8月 福島東こども園大規模改修工事 竣工（児童定員127名）
- ・令和 2年 4月 ふくしま信陵子育て支援センター“ぼれぼれ”開設
- ・令和 3年 4月 福島市家庭訪問型子育て支援事業「ホームスタート」事業開始
- ・令和 3年 5月 福島蚕糸跡地町有地利活用に係るプロポーザル
- ・令和 3年 6月 福島蚕糸跡地町有地利活用に係る基本協定 締結
- ・令和 5年 7月 こども誰でも通園制度モデル事業 受託



認定こども園コンセプト

桑折町の文化・伝統を次世代へ・・・ ウェルビーイングの実現を目指します。

■幼保連携型認定こども園として教育・保育を一体として取り組みます。

小さな子を持つ家庭の働き方、生活のあり方の変化に対応すべく、幼稚園と保育園の機能を併せ持つ認定こども園として、乳児から未就学児まで一貫した方針のもとで保育・教育を実践します。

子ども及び園全体の保健・衛生のため看護師を配置し、病児・病後児（自園型）事業に取り組みます。

■地域の文化行事への参加と自然とのふれあいを大切にします。

桑折町の文化・伝統を継承すべく、地域行事への積極的参加やこども園への招待などを通した文化的・地域的交流を行います。半田山自然公園やふれあい公園などの町内の資産を活かし、自然の営みや季節の移ろいを感じることのできる感性を育みます。

■こどもを持つ若い世代との交流を推進します。

子育て支援センターや一時保育を行い、未就園児のいる家庭の子育てをお手伝いします。ワークショップや交流イベントを開催し、子育て世代の交流についてもサポートしていきます。

■必要なスキル(創造力・協動する力・基礎力)を育みます。

知識や技能の習得を学びしてきた今までの教育ではなく、それらを応用し、インクルーシブ保育の実践とコミュニケーションを取りながら、他者と協動して解決していく力を育みます。



認定こども園レイアウト（予定）



基本理念



輝く太陽のように

ここで出会うすべての人が、共に育み合うふれあいの場所。
地域社会を明るく照らす、太陽のような存在でありたいと願っています。



私たちは、子どもたち一人一人に輝く笑顔と無条件の愛でよりそい、人との関わりの中から豊かな感性と健全な社会性を育みます。



私たちは、子育てが楽しいと感じられるようなライフデザインを提供し、また地域に開かれたこども園作りに積極的に取り組みます。



私たちは、一人一人が互いに認め合い、太陽のようにあたたかい心と明日への向上心を持って豊かな人間として成長し続けます。

《本園の3つの教育・保育目標》

～子どもによりそう教育・保育をめざして～

① 「心身共に健康で、明るく意欲ある子ども」

元気な心と体で、何事にも積極的に取り組み、最後までやり抜く子ども



それぞれの年齢や発達段階に応じた運動遊びを取り入れています。

幼児期の運動は体だけではなく、前向きな気持ちを育てます。

また、いろいろなことに継続して挑戦し続けることで、意欲ある心が育ちます。

《本園の3つの教育・保育目標》

②「お互い助け合い、思いやりのある子ども」

相手の立場になって考え、助け合い、相手を思いやる子ども



異年齢児が触れ合う機会や子どもが主体的に遊べる時間を十分に設けています。

同じ場所で同じ遊びを展開することで、友達とのやりとりが自然と生まれます。その中から様々な情緒が育ちます。

《本園の3つの教育・保育目標》

③「自然や地域社会を愛し、豊かな感性をもった子ども」

身近な環境にかかわり、豊かな感性を持つ子ども



園内にはない環境を求め、日々の教育・保育を構成しています。

様々な人的環境・物的環境にかかわり、興味・関心を持つことで豊かな感性が育ちます。

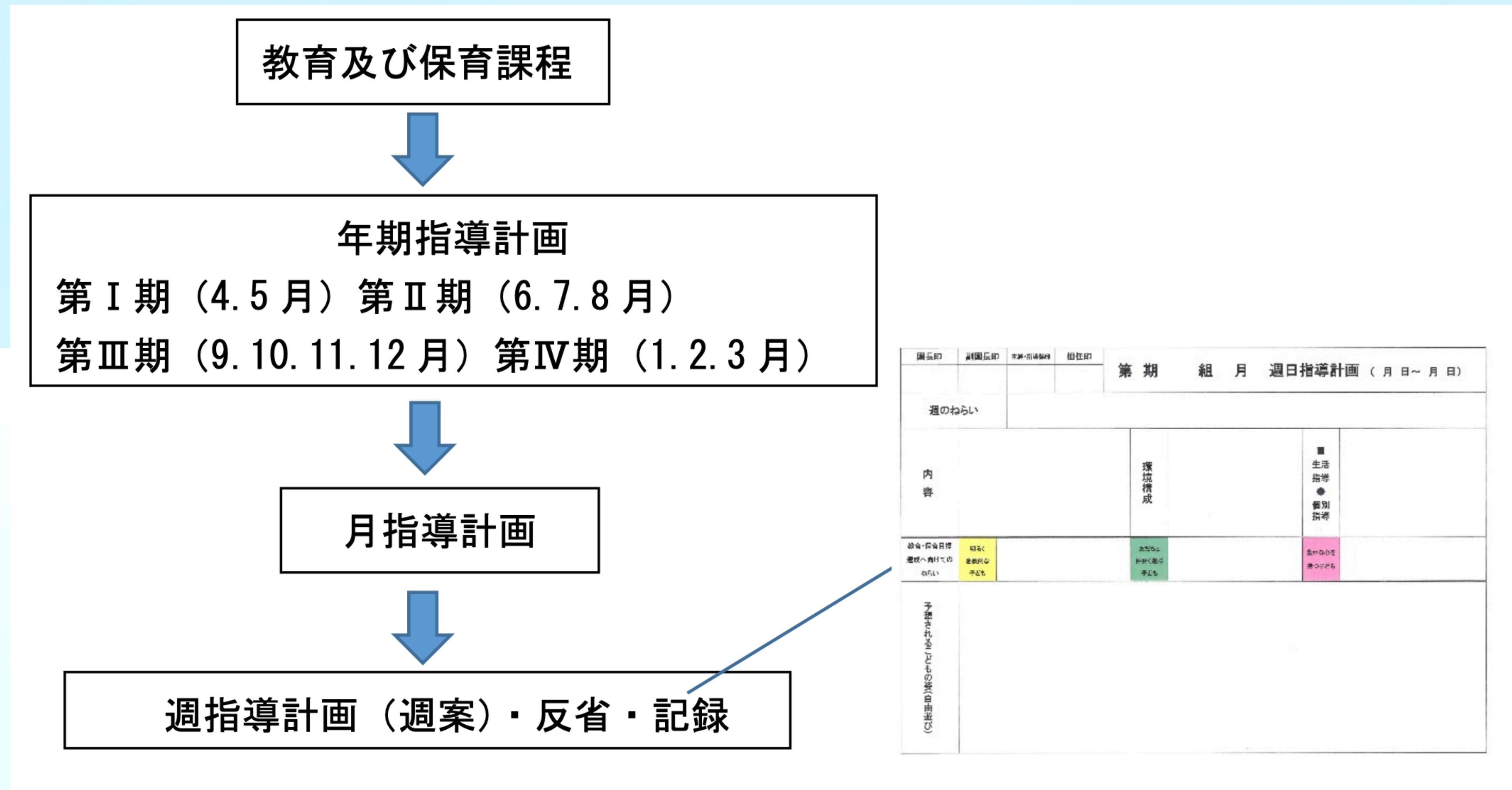
子どもの興味に応じた手作りおもちゃを取り入れています。

発達に応じた適切な素材、感触など五感を刺激することで、豊かな感受性が育ちます。

この3つの取り組みから生涯の学びを支える力が身に付きます。

《見通しを持った教育・保育の計画について》

上記で述べた取り組みなどは、見通しを持った計画を園全体で立案しています。



《一人一人の子どもを共に育む「共育」について》

上記で述べた取り組みなどは、見通しを持った計画を園全体で立案しています。

私たち職員は、保護者と同じ目線で子どもの成長を見守り、支援し、共に育てる関係性を育みたいと考えています。
そのために・・・

○ 保護者と同じ目線で語り合いたい。	⇒日々の情報交換 ⇒個別懇談
○ 園での取り組みを保護者の方にも肌で感じてもらいたい。	⇒保育参観
○ 基本的な生活習慣を家庭と園とで連携していきたい。	⇒基本的生活習慣を確立するための書類
○ 保護者の要望や意見を聞かせてほしい。	⇒保護者アンケート・要望箱

保護者の方々の支援をいただきながら、地域に開かれた園づくりを積極的に行っていきたいと思います。

(仮称) こおりこども園は、子どもを真ん中に、保護者・地域のみなさま・そして私たち職員がそれぞれの立場で支え合います。

ご清聴ありがとうございました。

